

第六十七日目

師 範：ポーツマス条約では、賠償金を取れずに終わったので、日本は国際的な「借金」の返済にたいへん困りました。



国民には戦争用に特別に増やした税金をそのままにしたので、生活に困る人々がいました。

また朝鮮における日本の支配がロシアにも認められたので、日本は支配を強めました。

朝鮮の財政や外交や自衛の権利を奪い、しだいに主権を奪って、植民地としていきました。

1910年の韓国併合は、朝鮮が日本の植民地とされた年です。

1910年 日本は韓国を併合する。(日韓併合)

この年を覚えましょう。

コン太：それでは



「人食いを思わせる韓国併合」

「ひと」は1, 「く」は9, 「い」は1, 「を」は0です。

ペン太：わたくしは

「はじめから悔いを残す韓国併合」

としました。

「はじめから」は1, 「くい」は91, 「を」は0です。

コン太：さらに

「併合し 韓国へ行く 伊藤のあと」

「いく」は19で、「いとう」は10を読みました。

師 範：朝鮮の人々にとっては、たいへん悲しいできごとでした。

35年間の植民地支配の始まりとなってしまいました。

反対する人も抵抗する人もいましたが、弾圧されました。

命を奪われた人、悲しく苦しい人生をしいられた人々がいたことを忘れないようにしたいものですね。

